

いなべ市×株式会社リードライフ

地域ニーズ・課題（福祉部 長寿福祉課）

「住民同士が助けあえるまちへ～高齢者見守り支援～」

いなべ市では、ちょっと目や耳が悪い、もの忘れしがち、運動機能が低下したなどの高齢者が「初めて」でも活用しやすい簡単見守りツールを企業のみならずとも考え、「高齢者の見守りが、高齢者同士で、地域で、いなべ市で」構築できるまちづくりを目指す。

実証概要 令和4年8月5日 実証実験に係る連携協定を締結

市内の看護センターを実証フィールドとし、「ミマモラート」が施設の夜間見回り、訪問介護サービス利用者の在宅状況の安否確認に活用でき、介護従事者の負担軽減につながるかの効果検証を実施予定。併せて、「ミマモラート」の介護分野への導入効果も検討。

遠隔での生存確認システム



非接触センサーで脈拍、心拍、モーションを認識。
見守る側はスマホで簡単に在宅時の状況把握が可能。

でも・・・今のヤツって老人向きじゃないよな～
高齢者特有のWebツールへの配慮

- ①クリック、タップ、スクロールしづらい
- ②聞き取れない
- ③目が悪い

独居老人



生体情報
-呼吸、脈、活動



見守り
コミュニケーション
-電話など

見守り



息子・娘



民生委員
ケアマネ

いなべ市（三重県）

人口45,000人のうち、高齢者が12,000人を占め、4人に1人が高齢者。独自で高齢者見守りに取り組んでいるが、将来、見守る人と見守られる人の均衡が保てなくなる（見守られる人の増加・見守る人の減少）ことから、アナログ的な見守りから、ITを活用した見守りの導入を目指している。

株式会社リードライフ（愛知県名古屋市）

終活・生前整理をサポートするアプリケーション（生前整理アプリ）及びITを駆使した見守りセンサー（ミマモラート）の開発及び企画、販売を行っている。